

論点1 基幹放送の役割

- 基幹放送に期待される社会的役割やその経営環境についてどう考えるか。
- 基幹放送をその放送対象地域においてあまねく受信できるようにする現行の枠組みについてどう考えるか。
- 基幹放送を電波により受信できるようにする現行の枠組みについてどう考えるか。

論点2 地上基幹放送をIPユニキャストで代替することの是非

- 地上基幹放送は、基本的に無線局が地上に相当数開設されることによってその放送対象地域における受信エリアが確保されるものである中で、「小規模中継局等のブロードバンド等による代替」は何を意味するか。
- IPユニキャスト以外の代替手段も考えられる中で、基幹放送の役割を踏まえ、地上基幹放送をIPユニキャストで代替可能とすることは適当か。

論点3 地上基幹放送をIPユニキャストで代替可能とする場合の要件

- 地上基幹放送をIPユニキャストで代替可能とする場合には、何らかの要件を設けることは必要か。
- 要件を設ける場合には、「小規模中継局等のブロードバンド等による代替に関する作業チーム」における品質・機能要件の検討状況も踏まえて、例えば、①地理的な範囲、②代替の必要性（例：経営状況、業務遂行等）、③代替の方法、④代替される地上基幹放送を行う者の役割などの観点から、どのような要件を設けることが適当か。

論点4 地上基幹放送を代替するIPユニキャストを行う者に適用する規律

- 地上基幹放送を代替するIPユニキャストを行う者を規律することは適当か。
- 規律する場合には、どのような規律内容とすることが適当か。

論点5 その他

- NHKの地上基幹放送をIPユニキャストで代替可能とすることは適当か。
- 更なる検討が必要となる事項として何が考えられるか。

論点6 放送の将来像

- 社会環境の変化（例：能登半島地震で課題となった偽・誤情報対策等）などを踏まえ、放送の価値についてどう考えるか。
- 放送概念は将来的にどのような方向に向かっていくと考えるか。
- 放送概念の変化を見据えたときに、放送の担い手になることで認められる効果として何が考えられるか。（例：権利処理、プロミネンス、多元性確保、データ利用、真実性・信頼性確保等）

検討スケジュール（案）

済

第26回 (5月24日)	・ 穴戸構成員からのプレゼンテーション ・ 「小規模中継局等のブロードバンド等による代替に関する作業チーム」からの報告 ・ 現行制度
第27回 (6月10日)	・ ヒアリング① ・ 諸外国事情 ・ 論点及び検討スケジュール（案） ・ 論点別の検討（基幹放送の役割、代替の是非、代替の要件）
第28回	・ ヒアリング② ・ 論点別の検討（規律内容、その他、放送の将来像）
第29回	・ ヒアリング③ ・ 論点整理（案）
第30回	・ 第3次取りまとめ（案）
第31回	・ 意見募集の結果

親会開催スケジュール

